

様式第3（第8関係）

指定管理者評価判定結果報告書

平成30年 7月11日

高 浜 市 長 殿

高浜市やきものの里かわら美術館  
指定管理者選定評価委員会  
委員長 丹 羽 重 則

平成29年度の指定管理者の評価の判定結果について、高浜市指定管理者の評価に関する指針第8の規定により報告します。

1. 施設の名称	高浜市やきものの里かわら美術館			
2. 指定管理者の名称	乃村工藝社・NTT ファシリティーズ美術館運営共同事業体			
3. 指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日			
4. 協定書・事業計画書等に基づく管理の概要	・かわら美術館の利用及びその制限に関する業務 ・かわら美術館の管理運営に関する業務 ・かわら美術館の利用に関する料金徴収に関する業務 上記に掲げるもののほか、市長が必要と認めた業務			
5. 大分類項目の評価				
項目	満点	評点	満点に対する割合	判定結果
① 総則に関する事項	150点	116点	77.3%	B
② 施設設備の維持管理に関する事項	90点	78点	86.7%	A
③ 運営及びサービスの質の向上に関する事項	450点	356点	79.1%	B
6. 総合評価				
項目	満点	評点	満点に対する割合	判定結果
総合評価	690点	550点	79.7%	B
7. 評価結果についての講評				
(総評) ・予算を削減された中で人が集まる仕組みを期待されているので、ハードルは高いが今の施設が維持できる範囲で如何に市民に活用いただけるかが鍵になる。 ・内容的に良く努力されていると感じるが、今後も第2期テーマである「みんなで美術館」を目指した取組みを継続的に実施していただきたい。				

(連携について)

- 市民との連携をより一層深めるようにしてもらいたい。
- 学校との連携を進めるうえで、美術館の立地がどうしてもネックとなる。「学校（子ども）が美術館に行く」から「美術館（作品等）が学校に行く」といった発想も必要ではないだろうか。
- 重点施策の一つに掲げられている企業や団体との連携については、トヨタ産業技術記念館で開催された竹中大工具館の「古代瓦を葺く」展示会の協賛として、三州瓦の展示をしてもらい、内外に広くPRすることができたと感じる。
- 飾り瓦コンクールの展示会開催や業界団体の講演会会場としての美術館利用もあり、瓦業界との連携は上手にできていると感じる。

(事業について)

- ギャラリートークやワークショップ、コンサート等の催しは大変充実していたと思う。しかしながら、展覧会事業では、特別展では美術館としてのステータスを求めたことが見えたり、アールブリュットなど個性的な作品の展示では一般の市民からの評価が難しいものもあり、来館者数が伸び悩んだのではないだろうか。計画書に掲げているテーマにあるように、皆で楽しめる美術館に向けての取組みを期待する。
- 「PLAY」のような企画に好感が持てる。例えば、見るだけではなく触れるような作品展もあれば、来場者もより楽しめるのではないかと考える。
- 市民が望む展覧会とは何かを今後も掘り起こしていただきたい。
- 平成30年度の「自ら生み出す美術館」の目標のなかで、更なる前進を期待したい。芸術活動に垣根は無いので、より自由な発想で面白いことに美術館を活用できるように、その芽を出していただきたい。

(体制について)

- 職員の異動が頻繁にあった年度であり、外から見ている限り、連携がうまくとれていない場面が見受けられた。今後、安定した職員体制を望む。